



仙南保健所オリジナルキャラクター
「てあらっこ」

仙南保健所管内の全数報告疾病

(宮城県感染症発生動向調査 第27週～第31週(R7.6/30～R7.8/3)より)

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：結核(無症状病原体保有者) 男性1名、女児1名(6歳未満)
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 女性1名(O157)
- 4類感染症：報告なし
- 5類感染症：梅毒 女性1名
- 百日咳 男性42名、女性34名(内、男女各3名は26週分の報告)

～注意が必要な感染症～

麻しん(はしか)

世界保健機構(WHO)は、日本は麻しんが排除状態にあると認定していますが、近年でも海外渡航者等からの感染事例が報告されており、宮城県内では6年ぶりに患者の発生(2例)がありました。

海外から帰国後、麻しんを疑う症状がある方や、渡航者と接触した方で免疫がない方は、麻しんに罹患している可能性がありますので注意が必要です。

日本国内で届出された麻しん症例の推定感染地域



- ベトナム(51例)
- タイ(3例)
- モンゴル(2例)
- フィリピン(2例)
- ベトナム/国内(2例)
- その他

2025年第1週～第28週(令和6年12月30日～令和7年7月13日)

医療機関受診の前には必ず連絡を！

麻しんの流行が見られる地域に渡航後は、**帰国後2週間程度は麻しん発症の可能性も考慮して健康状態に注意**してください。

麻しんに感染した可能性があり、発疹、発熱などの疑わしい症状がある場合は、**「症状」と「麻しんの疑いがあること」を医療機関に連絡**し、受診の要否など、医療機関の指示に従ってください。

感染力が非常に強いいため、移動される際は、周囲の方への感染を防ぐため、可能な限り**公共交通機関の利用は避けてください。**

麻しん(はしか)とは？

感染経路：**空気感染**、飛沫感染、接触感染です。**感染力が非常に強く**、麻しんの免疫がない集団に1人の発症者がいた場合12～14人が感染するとされています。麻しんは**免疫がない人が感染するとほぼ100%発症します**。発症日の1日前から解熱後3日間を経過するまで感染力があります。

症状：感染すると約10日後に**発熱及びかぜ症状(咳、鼻水、目の充血等)**が2～4日続き、その後39℃以上の**高熱と全身の発疹**が出現します。通常は7～10日程度で症状は徐々に回復しますが、肺炎、脳炎等の重い合併症を発症する場合があります。



予防には、「2回のワクチン接種」が有効です

1) 定期接種を受けましょう

(第1期：1歳児、第2期：小学校入学前の1年間の幼児)

2) 過去の麻しん罹患歴やワクチン接種歴が明らかでない場合は、抗体検査やワクチン接種を検討しましょう

特に、医療従事者、学校関係者、保育・福祉関係者など麻しんに罹患することで周りへの影響が大きい場合や、麻しんが流行している地域に渡航する場合は、抗体検査やワクチン接種をご検討ください。

宮城県感染症発生
動向調査【週報】は
こちらから



せんなん感染症
情報はこちらから

